

## 令和6年度 第1回（第18回） 鎌倉市市民活動推進委員会 議事録概要版

- 日時 令和6年（2024年）5月12日（日） 14：00～16：40
- 場所 鎌倉市役所本庁舎 全員協議会室
- 出席委員 中島委員長、土屋副委員長、東樹委員、曾根委員、中井委員、西畠委員、水澤委員、山口委員、加茂委員（以上委員9名出席）
- 事務局 市民防災部地域のつながり課：下田係長、本多、奈木
- 傍聴者 なし

### 【議題】

1 委員長の選任について

- ✚ 委員の互選により中島委員が委員長に就任。

### 【議題】

2 つながる鎌倉エール事業令和5年度実施報告会について

- ✚ 意見交換を実施し、〈別紙〉のとおり各報告団体の講評及び報告会の総評をまとめた。

### 【議題】

3 「市民活動と協働を推進するための指針」の更新について

事務局から、指針の更新（行政計画への格上げ）に関する過去の議論内容、今後のスケジュール、具体施策の進捗状況について説明の後、議論。

#### <現指針の評価について>

- ✚ 現在の指針を評価するにあたっては、そもそも3年後のありたい姿が設定されていないと評価することはできないのではないか。現段階で事務局にて想定している評価基準のイメージはあるか。
  - ↳ （事務局）資料3-3（具体施策の進捗状況一覧）の各項目について、1～5段階で評価することを考えている。
- ✚ NPO団体の評価方法として、ソーシャルインパクト評価<sup>1</sup>という手法もあると思うが、行政はソーシャルインパクト評価<sup>\*1</sup>することは可能か。
  - ↳ 行政は取組の手段が施策であり、その施策の達成度合いを評価しているのではないか。
  - ↳ 他市の事例を調査して、それを踏まえて今後議論していきたい。
- ✚ 「市民活動」という取組自体が、多種多様なものであるため、一概に評価指標を設定できるものではないと考えられる。モデルとなる評価指標やモデルケースを作るのは難しいのではないか。そのため、現指針を評価する際には、個別に議論するワーキングは必要であり、指針の具体的施策について一つずつ評価していく方法が望ましいと思われる。
  - ↳ （事務局）現指針の評価をもって「どのように行政計画に反映させるか」ということを議論するワーキングを開催することも検討したい。

---

\* 1 「ソーシャルインパクト（社会的インパクト）評価」とは  
内閣府「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査」より抜粋

■社会的インパクト

短期、長期の変化を含め、当該事業や活動の結果として生じた社会的、環境的な「アウトカム」

■社会的インパクト評価

社会的インパクトを定量的・定性的に把握し、当該事業や活動について価値判断を加えること

---

<新しく策定する行政計画の評価方法について>

- ⊕ 事務局としては、新しい行政計画の評価の基準について、具体的にどう考えているか。
  - └ (事務局) 行政計画については、目標を数値化し、その数値目標に対する実績評価とすることを検討している。
- ⊕ 行政計画については、総合計画の内容を（令和8年1月予定）を意識して作成していく必要があると思う。
  - └ (事務局) 地域のつながり課でもそのように考えており、総合計画に基づいた市民活動推進の個別計画となるように、総合計画の策定を担当している企画課と調整を図りながら進めていきたい。
- ⊕ 施策により、協働事業自体の数が増えることや、市民活動に参加する人の数が増えること自体が評価につながるという考え方もある。
- ⊕ つながる鎌倉条例（平成31年1月施行）の制定にあたり「市民活動団体実態調査アンケート」「市民活動や協働の推進に関する意見交換会」を実施したので参考にしたい。

<アンケートについて>

- ⊕ アンケートだけでは埋もれてしまう意見がある可能性があるため、市民団体との意見交換会など対面でやりとり出来る場もあると良いのではないか。

<結論>

- ⊕ 原指針の評価方法については、目標を定めていないことから現実的に評価指標を定めることは困難である。
- ⊕ そのため、事務局による評価の素案を示していただき、それに基づいて次回委員会で議論を行った後、ワーキングの場で個別具体的に個別計画へ反映または削除の議論を行うこととする。

## 【報告】

### 1 令和6年度つながる鎌倉エール事業について

- つながる鎌倉エール事業について、令和6年度に新コースを新設し、協働コースの見直しを実施したことから、様々な方法で周知を行い、下記の方法にて周知した。

- 鎌倉市定例記者会見での発表
- 広報かまくら4月1日号の特集（全戸配布）
- 市ホームページの刷新
- JCOMの市政番組
- 鎌倉FM
- 市公式SNS（LINE、Facebook、X（旧Twitter））
- NPOセンター発行パートナーズ、登録団体宛メール
- タウンニュースによる掲載
- 説明会の実施（市主催4/14、センター主催4/27）

- 協働推進のための各課業務課題の調査の実施について共有した。

※調査結果の詳細は、下記URLから閲覧可能。

<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/npo/kyodoresearch.html>

- 市民活動推進委員会における令和6年度の選考部会員を下表のとおり決定した。

令和6年度市民活動推進委員会 選考部会員分担表		
スタートアップコース 令和6年6月29日（土）	地域活性化コース 令和6年8月24日（土）	協働コース 令和6年9月29日（日）
土屋	東樹	中島
中井	中井	土屋
曾根	曾根	東樹
加茂	山口	山口
	水澤	水澤

## 【報告】

### 2 令和6年度の重要テーマについて

- 指針の更新（（仮称）市民活動推進計画への格上げ）
- 委託ガイドライン代替策（周知媒体）の検討・完成

以上